

## ABA 海外視察レポート 第 2 弾

### *2015 年 韓国視察および KiC との MOU 締結*

#### 実施報告書（要約） パート③ 粉体塗装建築物視察

#### 3.3 粉体塗装建築物

14 日（土）の午後に Akzo Nobel 社安氏の案内により、同社のポリエステル系粉体塗料が採用されたソウル市内の建築物外装 2 件を視察した。建築物の概要を表 3.3.1 に、所在を図 3.3.1 および図 3.3.2 に示す。

表 3.3.1 視察した建築物の概要

建築物名称	施工年	塗料	色調	光沢	視察部位
現代産業開発本社	2004 年	Interpon D1010	赤	半艶	外装モールディング 鋼製パイプ
第 2 ロッテワールド	2014 年	Interpon D1010	白	艶消	低層部外装 アルミニウム合金板材



図 3.3.1 視察した建築物の所在地①



【現在産業開発本社】

住所：160, Samsung-dong, Kangnam-Ku,  
北緯 37 度 30 分 49 秒  
東経 127 度 3 分 40 秒

【第2 ロッテワールド】

住所：300, Olympic-ro, Songpa-Ku, Seoul  
北緯 37 度 30 分 47 秒  
東経 127 度 6 分 7 秒

図 3.3.2 視察した建築物の所在地②

### 3.3.1 現代産業開発本社外装モールディング

2004 年に施工されて 11 年を経過した事務所建築物で、正面の意匠モールディングとして設置された鋼製パイプに赤色のポリエステル系粉体塗装が施されている。建築物の正面は西面であり、交通量の多い大型道路（オリンピック通り）に面している。

視察する直前に Akzo Nobel 社の安氏から、当時の色調を再現した色調見本板を配付されたが、パイプの設置場所が高く、見本板を突き合わせて色調や光沢の変化を確認することはできない。同じく正面に意匠的に設置されている溶剤系熱可塑性樹脂塗料（メーカー不明）を塗装された赤色のパネルと比べると、粉体塗装されたパイプは赤味が黒ずんでいる印象を受けた。Akzo Nobel 社の説明では、パイプとパネルは設置当初から多少の色違いはあったとのことであるが、全体的な外観を眺めた際にはパイプの寸法が小さく、特に色違いを感じることはなく、違和感を覚えることは無かった。



写真 3.3.1 現代産業開発本社の全景



写真 3.3.2 色調見本板



写真 3.3.3 視察対象の建築外装

### 3.3.2 第2 ロッテワールド低層棟パラペット外装パネル

第2 ロッテワールドタワーは、現在も建築中（2016年完工予定）の多目的ビルであり、完成すれば韓国で最も高い建築物となる。高層棟（タワー）に先駆けて建設された低層棟の商業施設は、2014年にオープンしている。低層棟「LOTTE WORLD MALL」のパラペット外装として看板の背面に設置されたパネルに、Akzo Nobel社の白色ポリエステル系粉体塗料が採用されている。

前面道路を挟んで遠方からの視察となり、天候も曇天であったことから、パネルの色調を明瞭に確認することはできなかった。塗膜表面に多少汚れが付着しているようにも感じられたが、その下部に設置されている表面模様の入った同系色の大理石とも調和しており、特に違和感は無かった。



写真 3.3.4 第2 ロッテワールド



写真 3.3.5 色調見本板



写真 3.3.6 第2 ロッテワールド 低層棟外装パネル